(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-270250
(P2004-270250A)
(43)公開日　平成16年9月30日(2004.9.30)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
E06B 1/56	E06B 1/56	Z	2E011
E06B 7/08	E06B 7/08		2E036

審査請求 未請求　請求項の数 1　OL　（全 9 頁）

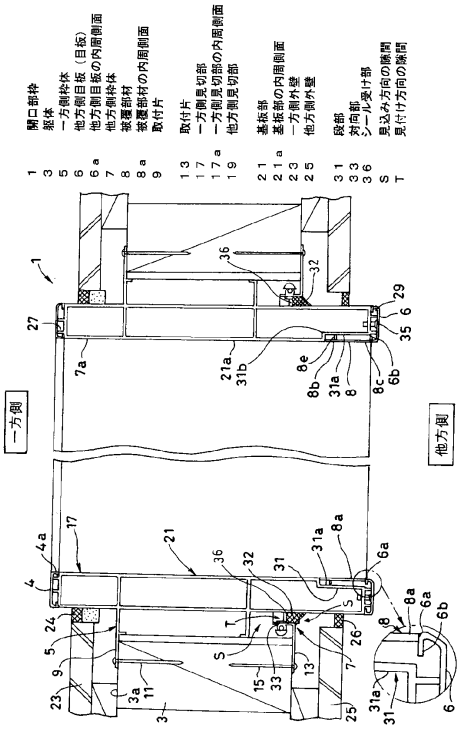
(21)出願番号　特願2003-61181(P2003-61181)
(22)出願日　平成15年3月7日(2003.3.7)

(71)出願人　000175560
三協アルミニウム工業株式会社
富山県高岡市早川７０番地
(74)代理人　100107560
弁理士　佐野　惣一郎
(72)発明者　中西　正人
富山県高岡市早川７０番地　三協アルミニウム工業株式会社内
(72)発明者　喜多　和彦
富山県高岡市早川７０番地　三協アルミニウム工業株式会社内
(72)発明者　北村　健
富山県高岡市早川７０番地　三協アルミニウム工業株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】開口部枠

(57)【要約】
【課題】開口部枠の施工後にパネル体の脱着ができるとともに、パネル体を装着した場合でも外した場合でも開口部枠の内周側面を面一にすることができ外観の良い開口部枠を提供する。
【解決手段】本発明の開口部枠１において、他方側枠体７は一方側枠体５の基板部２１の他方側外周側面と対向する対向部３３を有し、対向部３３と基板部２１との間には見込み方向及び見付け方向の隙間Ｓ、Ｔを設けてあり且つ対向部３３はシール受部３６を有し、対向部３３と一方側枠体５との間にはシール３２が設けてあり、目板６は他方側見切部の見付け面に取り付けてあり、被覆部材８又はパネル体１０は段部３１に係止してあり、一方側見切部１７の内周側面１７ａと、一方側枠体５の基板部２１の内周側面２１ａと、被覆部材８の内周側面８ａ又はパネル体１０の係止部３７の内周側面３７ａと、目板６の内周側面６ａとが略同一面にある
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
躯体の一方側面に固定する取付片を外周側に有し且つ一方側から開口部に取り付ける一方側枠体と、躯体の他方側面に固定する取付片を外周側に有し且つ他方側から開口部に取り付ける他方側枠体と、一方側枠体の他方側端に取り付ける目板と、被覆部材又はパネル体とを備え、一方側枠体は、躯体の一方側面に配置する外壁を見切る一方側見切部と、躯体の他方側面に配置する外壁を見切る他方側見切部と、一方側見切部と他方側見切部との間に位置して躯体開口部の内周側を被覆する基板部とを有し、他方側見切部の内周側には段部が設けてあり、他方側枠体は一方側枠体の基板部の他方側外周側面と対向する対向部を有し、対向部と基板部との間には見込み方向及び見付け方向の隙間を設けてあり且つ対向部はシール受け部を有し、対向部と一方側枠体との間にはシールが設けてあり、目板は他方側見切部の見付け面に取り付けてあり、被覆部材又はパネル体は段部に係止してあり、一方側見切部の内周側面と、一方側枠体の基板部の内周側面と、被覆部材の内周側面又はパネル体の係止部の内周側面と、目板の内周側面とが略同一面にあることを特徴とする開口部枠。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、開口部枠に関する。
【０００２】
【従来の技術】
特許文献１には、躯体の開口部に一方側枠体と他方側枠体とを取り付け、一方側枠体の他方側見切部の内周側に段部を設け、この段部にパネル体を係止した構成が開示されている。
【０００３】
【特許文献１】
特開平１１－１０７６３０号公報
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
しかし、特許文献１に開示の技術では、基板の内周側面と、パネル体の係止部の内周側面とが段状になっており、基板の内周側面よりもパネル体の係止部が突出しており、すっきりとした外観が得られず、意匠性に劣るという問題がある。更に、開口部枠の施工後に、取り付けてあるパネル体を取り外したり、施工時にはパネル体を装着していないが、その後、必要に応じて装着できる構成が望まれている。しかし、このようなパネル体の脱着を開口部枠の施工後に行う場合には、仮にパネル体の装着部の内周側面が基板の内周側面と面一であってもパネル体を外したときに装着部が基板の内周側面に対して凹み状になり、内周側面に凹凸が生じるので外観上好ましくない。また、パネル体が未装着の場合に装着部の内周側面と基板の内周側面とが面一であっても、後からパネル体を装着した場合には装着部におけるパネル体の内周側面が基板の内周側面に対して出張ってしまい、開口部枠の内周側面に凹凸が生じるという問題がある。
そこで、本発明は、開口部枠の施工後にパネル体の脱着ができるとともに、パネル体を装着した場合でも外した場合でも開口部枠の内周側面を面一にすることができ外観の良い開口部枠の提供を目的とする。
【０００５】
【課題を解決するための手段】
請求項１に記載の発明は、躯体の一方側面に固定する取付片を外周側に有し且つ一方側から開口部に取り付ける一方側枠体と、躯体の他方側面に固定する取付片を外周側に有し且つ他方側から開口部に取り付ける他方側枠体と、一方側枠体の他方側端に取り付ける目板と、被覆部材又はパネル体とを備え、一方側枠体は、躯体の一方側面に配置する外壁を見切る一方側見切部と、躯体の他方側面に配置する外壁を見切る他方側見切部と、一方側見

切部と他方側見切部との間に位置して躯体開口部の内周側を被覆する基板部とを有し、他方側見切部の内周側には段部が設けてあり、他方側枠体は一方側枠体の基板部の他方側外周側面と対向する対向部を有し、対向部と基板部との間には見込み方向及び見付け方向の隙間を設けてあり且つ対向部はシール受け部を有し、対向部と一方側枠体との間にはシールが設けてあり、目板は他方側見切部の見付け面に取り付けてあり、被覆部材又はパネル体は段部に係止してあり、一方側見切部の内周側面と、一方側枠体の基板部の内周側面と、被覆部材の内周側面又はパネル体の係止部の内周側面と、目板の内周側面とが略同一面にあることを特徴とする。

【０００６】

この請求項１に記載の発明では、他方側見切部の内周側面に設けた段部に、パネルを取り付けない場合には、被覆部材で段部を被覆する。被覆部材の内周側面と、一方側枠体の基板部の内周側面と、目板の内周側面とは、同一面にあるから開口部枠の内周面全体は面一であり、外観が良い。

一方、一方側枠体の他方側見切部に設けた段部にパネルを装着する場合には、パネル体の係止部を段部に係止する。この場合にも、パネル体の係止部の内周側面と、一方側枠体の基板部の内周側面と、目板の内周側面とは、同一面にあるから開口部枠は内周側面全体が面一であり、外観が良い。

即ち、本発明では、開口部枠の施工後に一方側枠体の他方側見切部に被覆部材又はパネル体を選択的に装着自在であるとともに、被覆部材とパネル体とのいずれを装着した場合でも、開口部枠の内周側面全体が面一になる。

他方側枠体の対向部と、一方側枠体の基板の外周側面との間に見込み方向及び見付け方向の隙間があるから、この隙間内で一方側枠体の見込み方向及び見付け方向の寸法調整ができる。

一方側枠体は躯体の一方側から躯体の一方側面に固定し、他方側枠体は躯体の他方側から躯体の他方側面に固定できるので、施工し易い。

また、他方側枠体の対向部にはシール受け部が設けてあるので、一方側枠体との間のシール作業がし易く、施工し易い。

【０００７】

【発明の実施の形態】

以下に、添付図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。図１は本発明の実施の形態を示し、被覆部材を装着した開口部枠の横断面図であり、図２は図１に示す開口部枠の縦断面図であり、図３はパネル体を装着した開口部枠の横断面図であり、図４は図３に示す開口部枠の縦断面図である。

本実施の形態にかかる開口部枠１は、建物のバルコニー側壁に設けた風抜き用の開口部枠である。この開口部枠１は、躯体３に固定する一方側枠体５と他方側枠体７と、一方側目板４と、他方側目板（目板）６と、被覆部材（図１及び図２参照）８又はパネル体（図３及び図４参照）１０とを備えている。一方側枠体５は躯体３に固定する取付片９を外周側に有しており、この取付片９を躯体３の一方側面３ａに一方側からねじ１１で躯体３に固定している。

一方側枠体５は、一方側見切部１７と、他方側見切部１９と、一方側見切部１７と他方側見切部１９の間に設けた基板部２１とを有している。一方側見切部１７は、躯体３の一方側に設けた一方側外壁２３を見切っており、一方側外壁２３との間にはシール材２４が施されている。また、一方側見切部１７の見付け面には一方側目板４の被係止部２７が形成されている。一方側見切部１７の見付け面は、四周のコーナ部における端部を４５度切断して突合せ接合してた竪横の一方側目板４で遮蔽してある。

他方側見切部１９は、躯体３の他方側に設けた他方側外壁２５を見切っており、他方側外壁２５との間にシール材２６が施されている。また、他方側見切部１９の見付け面には、他方側目板６の被係止部２９が形成されている。

他方側見切部１９の内周側には、凹み状の段部３１が設けてあり、この段部３１に被覆部材８又はパネル体１０が係止されるようになっている。段部３１は、本実施の形態では、

開口部枠１の内周面において左右側面のみに形成されており、被覆部材８又はパネル体１０はその左右側が他方側見切部１７の内周側で係止されている。
基板部２１は、躯体３の開口部の内周側を被覆しており、基板部２１の内周面は一方側見切部１７と他方側見切部１９と連続し且つ面一である。
他方側枠体７は、他方側枠体７は、躯体３に固定する取付片１３を外周側に有しており、この取付片１３は躯体３に他方側からねじ１５で躯体３に固定している。この他方側枠体７は、一方側枠体５の基板部２１の外周側面に対向する対向部３３が設けられており、対向部３３と基板部２１の外周側面との間には、見込み方向の隙間Ｓと見付け方向の隙間Ｔが設けられている。対向部３３にはシール受け部３６が設けられており、対向部３３と基板部２１の外周部と間は、シール材３２で塞がれている。対向部３３と取付片１３とはタイト材付きのＬ字部材で一体になっており、防水テープの貼り付けやシール材３２によるシールがし易くなっている。他方側枠体７のＬ字において、対向部３３は躯体３側に突設しており、他方側外壁２５側に突設していないので、他方側外壁２５が薄壁の場合にも邪魔にならない。
一方側目板４は、一方側枠体５の一方側の見付け面に設けてある被係止部２７に係止されており、内周側面４ａが一方側見切部１７の内周面１７ａと面一になっている。
他方側目板６は、一方側枠体５の他方側の見付け面に設けてある被係止部２９に係止され且つねじ３５にて被係止部２９に固定されている。この他方側目板６の内周側面６ａは段部３１の底面３１ａより内周側に突設して且つ基板部２１のか内周側面２１ａと同一面上にある。
被覆部材８は、段部３１の底面３１に当接する底面当接部８ｅと、段部３１の一方側壁３１ｂに当接する一方側当接部８ｂと、他方側目板６の内周側端に当接する他方側当接部８ｃとを有しており、段部３１の一方側壁３１ｂと他方側目板６の内周側端６ｂとに挟持されて係止している。
パネル体１０は、本実施の形態では格子パネルである、その左右に設けてある係止部３７が、被覆部材８と同様に、段部３１の底面３１ａに当接する底面当接部１０ａと、段部３１の一方側壁３１ｂに当接する一方側当接部１０ｂと、他方側目板６の内周側端６ｂに当接する他方側当接部１０ｃとを有しており、段部３１の一方側壁３１ｂと他方側目板６の内周側端６ｂとに挟持されて係止している。
そして、開口部枠１に被覆部材８又はパネル体１０を取り付けた状態において、開口部枠１の内周では、一方側枠体５における一方側見切部１７の内周側面１７ａと、基板部２１の内周側面２１ａと、被覆部材８の内周側面８ａ又はパネル体１０の係止部３７の内周側面３７ａと、他方側目板６の内周側面６ａとが略同一面になっている。
【０００８】
次に、本発明にかかる開口部枠１の施工及び作用について説明する。開口部枠１の施工は、一方側枠体５の取付片９をねじ１１により躯体３に固定し、他方側枠体７の取付片１３とをねじ１５により躯体３に固定する。一方側枠体５と他方側枠体７の取り付けにおいて、他方側枠体の対向部３３と一方側枠体５の基板部２１の外周側面との見込み方向の隙間Ｓと見付け方向の隙間Ｔにより、見付け方向及び見込み方向の寸法誤差を調整して取り付ける。即ち、他方側枠体の対向部３３と、一方側枠体５の基板部２１の外周側面との間に見込み方向の隙間Ｓと見付け方向の隙間Ｔとがあるから、これらの隙間Ｔ及びＳで一方側枠体５の見込み方向及び見付け方向の寸法調整ができる。尚、寸法調節後、他方側枠体７の対向部３３と一方側枠体５の基板部２１はシール材３２でシールする。対向部３３にシール受け部３６を設けているので、シール材３２によるシール作業が容易にできる。
一方側枠体５及び他方側枠体７は、それぞれ躯体開口の一方側及び他方側から取り付けでき施工し易い。
一方側枠体５及び他方側枠体７を躯体３に固定後、一方側外壁２３及び他方側外壁２５を施工し、一方側外壁２３と一方側見切部１７との間及び他方側外壁２５と他方側見切部１９との間をシール材２４、２６でそれぞれ塞ぐ。
そして、一方側見切部１７に一方側目板４を係止により取り付け、他方側見切部１９に他

方側目板６をネジ３５によりネジ止めする。
他方側見切部１９の内周側面に設けた段部３１に、パネル体１０を取り付けない場合には、被覆部材８を段部３１に係止して段部３１を被覆する。被覆部材８は段部３１の一方側壁３１ｂと他方側目板６の内周側端６ｂとの間に挟むように圧入し、又は、一度他方側目板６のネジ３５を緩めて被覆部材８を段部３１に装着した後、ネジ３５を締め付けて被覆部材８を段部３１の一方側壁３１ｂと他方側目板６の内周側端６ｂとで挟着して固定する。このように、被覆部材８は、開口部枠１の施工後に容易に取り付けできる。
被覆部材８を装着した状態において、一方側見切部１７の内周側面１７ａと、一方側枠体５の基板部２１の内周側面２１ａと、被覆部材８の内周側面８ａと、他方側目板６の内周側面６ａとが略同一面にあり、外観がよい。
一方、一方側枠体５の他方側見切部１９に設けた段部３１にパネル体１０を装着する場合には、パネル体１０の係止部３７を被覆部材８と同様に段部３１に係止する。この場合にも、パネル体１０の係止部３７の内周側面３７ａと、一方側枠体５の基板部２１の内周側面と、他方側目板６の内周側面６ａとは、同一面にあるから開口部枠１は内周側面全体が面一であり、外観が良い。
また、本実施の形態では、開口部枠１の施工後に、一方側枠体５の他方側見切部１９の段部３１に被覆部材８又はパネル体１０を選択的に装着自在であるとともに、客先仕様に応じて、被覆部材８とパネル体１０とのいずれを装着した場合でも、開口部枠１の内周側面全体を面一にできる。
【０００９】
本発明は、上述した実施の形態に限らず、本発明の要旨を逸脱しない範囲で種々変形可能である。
例えば、他方側目板６は、ネジ３５により止めることに限らず、被係止部２９との係合のみにより固定するものであってもよい。
段部３１は、一方側枠体５の左右に設けることに限らず、上下に設けるものであってもよいし、上下左右の四周に設けるものであってもよい。
開口部枠１は、家屋のバルコニー側の外壁に設けることに限らず、家屋のいずれの外壁に設けてもよいし、間仕切用の内壁に設けてもよい。
パネル体１０は、格子パネルに限らず、図５及び図６に示すように、パンチングパネルであっても良いし、通風用のパネルに限らず、ガラス等により通風を遮蔽するものであってもよい。
開口部枠の施工においては、一方側枠体５と他方側枠体７とはいずれを先に躯体３に固定してもよい。
シール材３２は、乾式シール材と湿式シール材のいずれであってもよい。
【００１０】
【発明の効果】
請求項１に記載の発明によれば、他方側見切部の内周側面に設けた段部に被覆部材を取り付けた場合には、被覆部材の内周側面と、一方側枠体の基板部の内周側面と、目板の内周側面とは、同一面にあるから開口部枠の内周面全体は面一であり、外観が良い。
一方、一方側枠体の他方側見切部に設けた段部にパネルを取り付けた場合にも、パネル体の係止部の内周側面と、一方側枠体の基板部の内周側面と、目板の内周側面とは、同一面にあるから開口部枠は内周側面全体が面一であり、外観が良い。
本発明では、開口部枠の施工後に一方側枠体の他方側見切部に被覆部材又はパネル体を選択的に装着自在であるとともに、被覆部材とパネル体とのいずれを装着した場合でも、開口部枠の内周側面全体が面一にでき、外観がよい。
他方側枠体の対向部と、一方側枠体の外周側面との間に隙間があるから、この隙間内で一方側枠体の見込み方向及び見付け方向の寸法調整ができる。
一方側枠体は躯体の一方側から躯体の一方側面に固定し、他方側枠体７は躯体の他方側から躯体の他方側面に固定できるので、施工し易い。
また、他方側枠体の対向部にはシール受け部が設けてあるので、一方側枠体との間のシー

ル作業がし易い。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の実施の形態を示し、被覆部材を装着した開口部枠の横断面図である。

【図２】図１に示す開口部枠の縦断面図である。

【図３】パネル体を装着した開口部枠の横断面図である。

【図４】図３に示す開口部枠の縦断面図である。

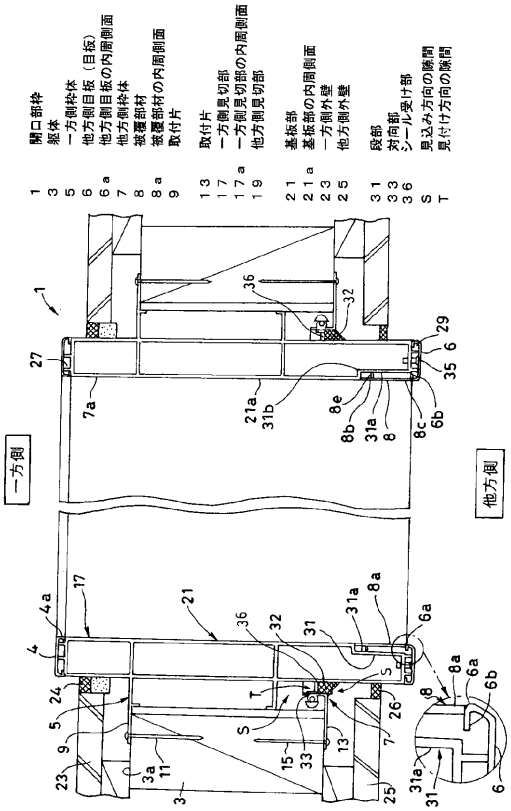
【図５】他の実施の形態にかかる開口部枠の横断面図である。

【図６】図５に示す開口部枠の縦断面図である。

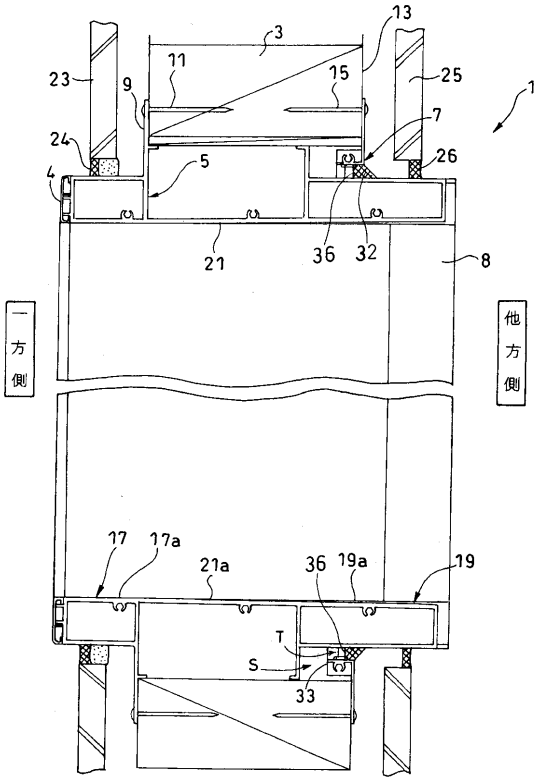
【符号の説明】

１　開口部枠
３　躯体
４　一方側目板
５　一方側枠体
６　他方側目板（目板）
６ａ　他方側目板の内周側面
７　他方側枠体
８　被覆部材
８ａ　被覆部材の内周側面
９　取付片（一方側枠体）
１０　パネル体
１３　取付片（他方側枠体）
１７　一方側見切部
１７ａ　一方側見切部の内周側面
１９　他方側見切部
２１　基板部
２１ａ　基板部の内周側面
２３　一方側外壁
２５　他方側外壁
３１　段部
３３　対向部
３６　シール受け部
３７　パネル体の係止部
３７ａ　パネル体係止部の内周側面

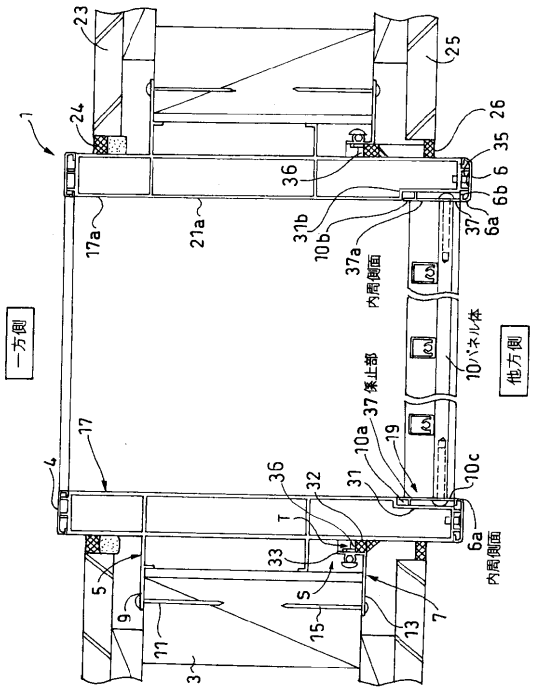
【図１】


1 開口部枠
3 框体
5 一方側枠体
6 他方側目板（目板）
6a 他方側目板の内周側面
7 他方側枠体
8 被覆部材
8a 被覆部材の内周側面
9 取付片
13 取付片
17 一方側見切部
17a 一方側見切部の内周側面
19 他方側見切部
21 基板部
21a 基板部の内周側面
23 一方側外壁
25 他方側外壁
31 段部
33 対向部
36 シール受け部
S 見込み方向の隙間
T 見付け方向の隙間
一方側
他方側

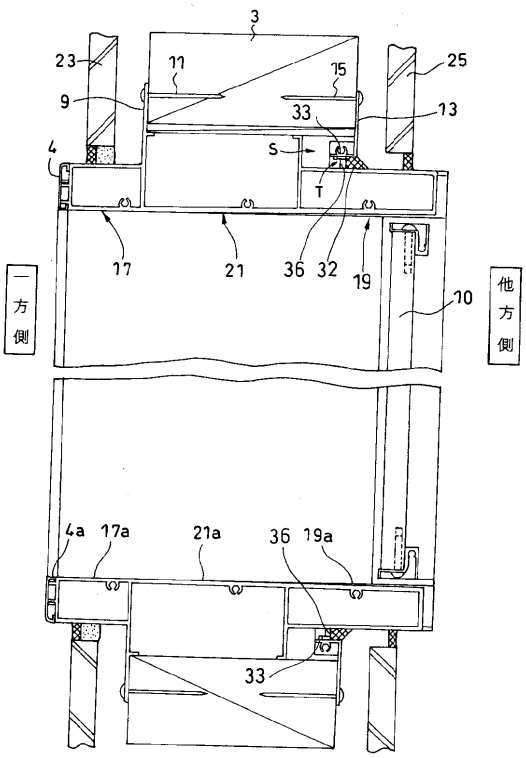
【図２】


一方側
他方側

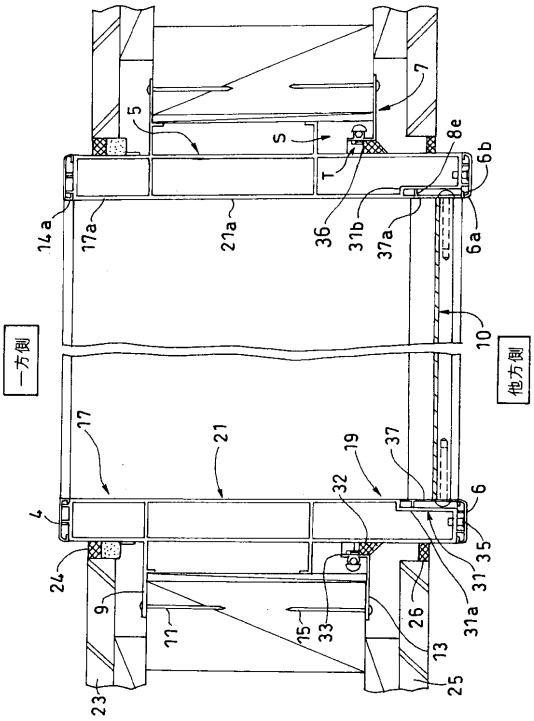
【図３】


一方側
他方側
内周側面
係止部
パネル体
内周側面

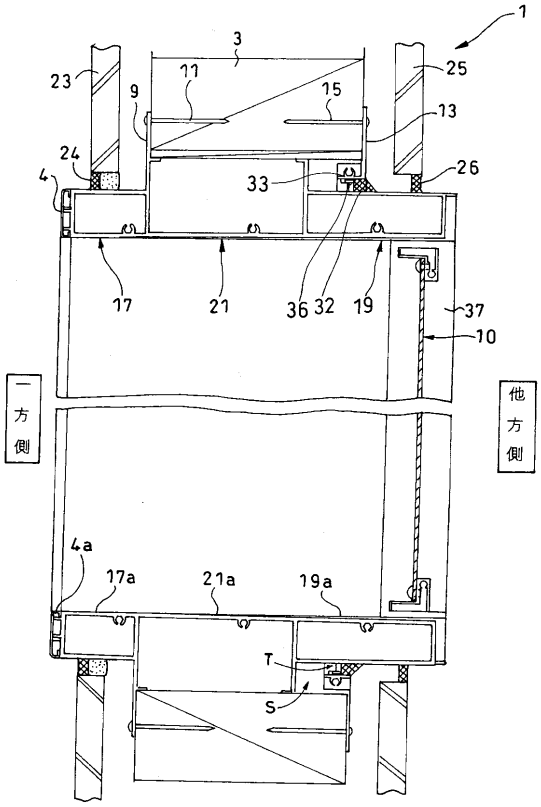
【図４】


一方側
他方側

【図５】


一方側
他方側
14a
17a
21a
36
31b
37a
6a
8e
6b
10
17
21
19
37
32
6
35
31
31a
4
24
9
11
15
33
26
13
25
23
5
7
S
T

【図６】


1
3
23
11
9
15
25
13
24
33
26
4
17
21
36
32
19
37
10
一方側
他方側
4a
17a
21a
19a
T
S

フロントページの続き

Ｆターム(参考) 2E011 DA01 JA01 KB02 KC07 KD28 LA01
2E036 JA01 JB02 JC01 KA04 LA01